

脳神経内科

主任部長 細見 直永

当科の診療体制

2025 年は、大阪・関西万博の開催された年でした。これに伴いインバウンドが加速したこともあってか、9 月初旬にはインフルエンザ発症が増え始め、11 月中旬には季節一回目のピークを示した。

脳神経内科領域としては、アルツハイマー型認知症に対するアミロイド β 除去療法が 2023 年末に上梓され、認知症診療に対する準備期間を経て当院でも 2025 年 3 月に物忘れ外来を開始した。同年 9 月末までに認知症精査を目的とした患者の紹介を 24 名いただき、そのうち 17 名をアルツハイマー型認知症と診断した。

また、高知の地域医療に貢献するため、2025 年 6 月末より脳神経内科の新患外来を開設し、週 4 回紹介患者の診断にあたっている。

常勤のスタッフとして、3 名の神経内科専門医が入院・外来診療にあたっております。また神経免疫疾患や筋疾患については、神経内科専門医資格を持つリウマチ・膠原病内科の医師に神経免疫部門を担ってもらい、共同した診療体制を構築しております。

これら少ないスタッフの中で、“高知県の神経疾患の最後の砦”となるべく努力を継続しています。また神経内科専門医が少なく、偏在している高知県の特殊性から、慢性期の患者は開業医の先生方に継続加療をお願いし、年に数回は当院で診察する診療体制をとっています。

近年、遺伝子解析や各種抗体検査の進歩には目を見張るものがあり、他施設との連携がますます重要となっており、当科も大学や各種研究機関・センターと人的ネットワークを拡げて活用しています。

診療実績

① 入院患者

2025 年には入院患者数は 269 名（←364 名）でした。大きなカテゴリーで分類すると脳血管障害 91 名（←110 名）、発作性疾患 69 名（←68 名）、変性疾患 23 名（←30 名）、感染症・炎症性疾患 17 名（←12 名）、免疫性疾患 16 名（←22 名）などでした。

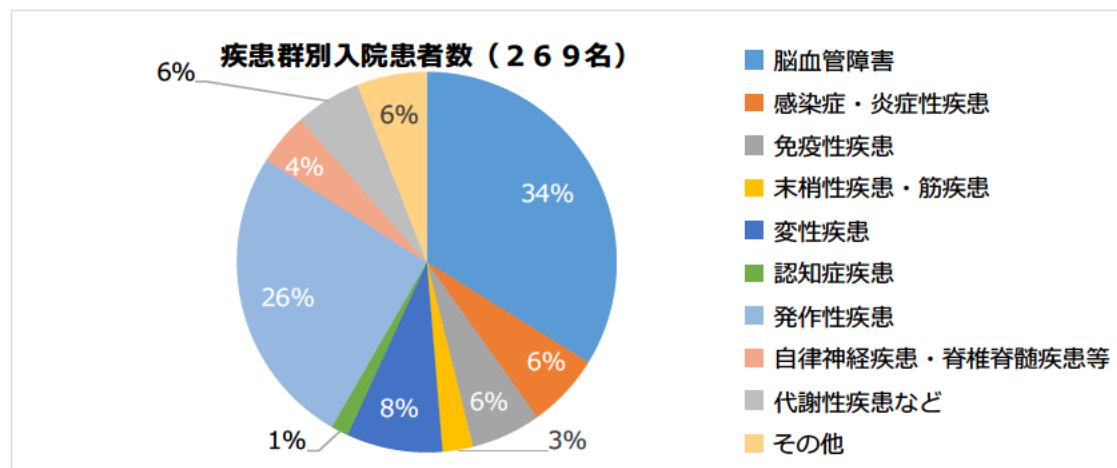


図 1. 疾患群別入院患者数

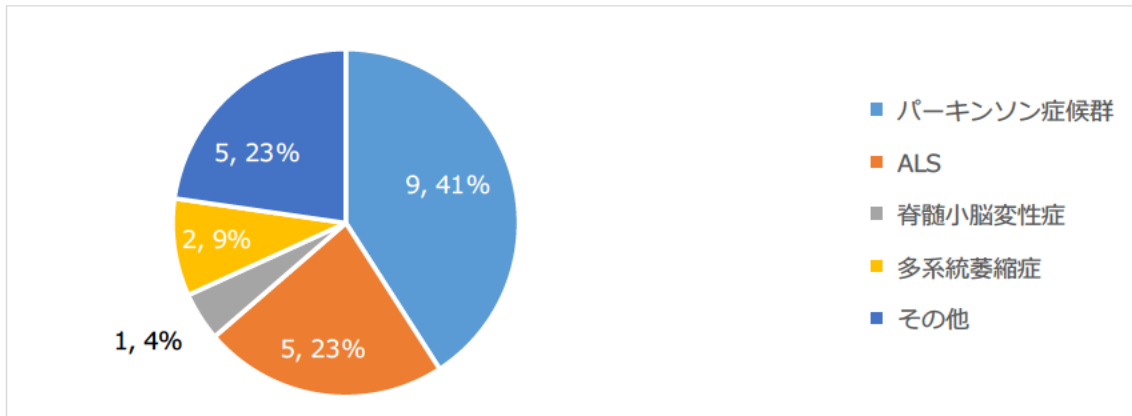


図 2. 神経変性疾患

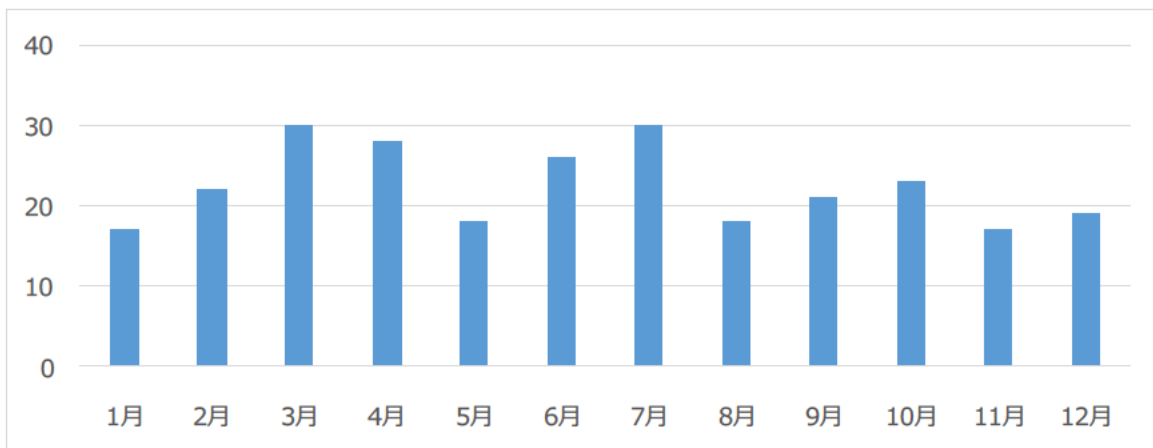


図 3. 月別入院患者数

② 紹介患者

ご紹介いただき、当科にて診断治療させていただいた入院患者は 73 名でした。図南病院、本山町立国保嶺北中央病院、国立病院機構高知病院、高知医療センター、細木病院、室戸市立室戸診療所、高知脳神経外科病院、愛宕病院、前田病院などから多くのご紹介をいただいております(2025 年実績: 紹介患者の多い順、2 例以上)。

当科外来にご紹介いただいた患者は、281 名でした。図南病院、にしの内科クリニック循環器・心臓内科、細木病院、ともざわ整形外科・リウマチクリニック、国立病院機構高知病院、仁淀病院、だいいちリハビリテーション病院、依光内科クリニック、永井病院、高知赤十字病院、高知脳神経外科病院、山下脳神経外科、町田整形外科などから多くのご紹介をいただいております(2025 年実績: 紹介患者の多い順、5 例以上)。

これからの脳神経疾患診療について

神経疾患の特徴は、その後遺症状により ADL が低下することです。特に脳梗塞は t-PA 治療や血栓回収などにより劇的な改善を示す患者も多くなりました。そのためには早期受診を勧める啓発運動が重要になります。また、てんかん患者では新規抗てんかん薬が増えて発作抑制に有用になっています。難病の神経変性疾患では診断や治療法が進歩しています。どの疾患も後遺症を減らすには早期診断・早期加療が重要であり、また脳卒中は予防医療が急性期治療に勝ると言われており、これをさらに向上させるためにも他医療機関との連携強化を図ります。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
脳小血管病と認知機能障害－口腔内環境の視点から－.	祢津智久, 青木志郎, <u>細見直永</u> , 丸山博文.	第 47 回日本高血圧学会総会シンポジウム.	東京. 2025 年 10 月

講演会

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
近森病院における認知症への対応.	細見直永.	第 8 回地域リハビリテーション研修会.	福山. 2025 年 11 月

著作活動

邦文原著

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
自慰行為によって再血管攣縮を来した RCVS の 1 例.	葛目大輔, 森本優子, 山崎正博, 細見直永.	高知県医師会医学雑誌.	30:258-264, 2025

英文原著

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Angiotensin II type 1 receptor signaling promotes bladder cancer progression and its inhibition by Losartan.	Yamanaka R, Miura K, Yamasaki N, Ogata S, Nakamura M, Inaba T, Bold-Erdene A, Enkhbaatar U, Mirkatouli FB, Miura S, <u>Hosomi N</u> , Kobatake K, Takemoto K, Kohada Y, Tasaka R, Hatayama T, Yukihiro K, Shikuma H, Iwane K, Hinata N, Kaminuma O.	Hypertens Res.	2026 in press.
Impact of vascular aging on stroke prognosis: the novel severity and arterial stiffness (SAS) score.	Kakaletsis N, Protogerou AD, <u>Hosomi N</u> , Nezu T, Michel P, Guillaume T, Strambo D, Kim YS, Sung W, Vemmos K, Korompoki E, Acampa M, Putaala J, Tulkki L, Hermann M, Rejmer P, Bath PM, Woodhouse LJ, Athanasopoulou E, Milionis H, Ntaios G, Kotsis V, Savopoulos C.	Neurol Sci.	2025 in press.
Early vascular aging ambulatory score in acute ischemic stroke.	Kakaletsis N, Kotsis V, <u>Hosomi N</u> , Nezu T, Michel P, Guillaume T, Strambo D, Kim YS, Sung W, Vemmos K, Korompoki E, Acampa M, Putaala J, Tulkki L, Hermann M, Rejmer P, Bath PM, Woodhouse LJ, Protogerou AD, Athanasopoulou E, Milionis H, Ntaios G, Savopoulos C.	NPJ Aging.	2025; 11: 13.
Long-term changes in carotid intima-media thickness according to baseline blood pressure level: J-STARS Echo study.	Wada S, Koga M, Kagimura T, Toyoda K, Nagai Y, Aoki S, Nezu T, <u>Hosomi N</u> , Origasa H, Ohtsuki T, Maruyama H, Yasaka M, Kitagawa K, Uchiyama S, Minematsu K, Matsumoto M; Japan Statin	J Neurol Sci.	2025; 468: 123342.

	Treatment Against Recurrent Stroke (J-STARS) Echo Study Collaborators.		
--	--	--	--